



下呂市 GERU CITY 議会だより assembly

令和2年5月1日
第64号



マスク着用などウイルス感染予防に配慮しながら3月定例会を実施（上段本会議、下段委員会）

CONTENTS

- 3月定例会の報告(審議結果) 新年度予算を審議、委員会報告 (P 2~P 8)
- 監査委員を議員の中から選出しないことに・意見交換会を受けて (P 9)
- 一般質問で12人が市政を問う (P10~P15)
- 3月臨時会を開催、議会改革の取り組み (P16)

3月定例会の報告

新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中、マスクや手洗いなど自己管理を徹底しながら、令和2年2月25日から3月19日までの24日間、令和2年第1回下呂市議会定例会を開催しました。令和元年度補正予算や指定管理者の指定、条例の制定・改廃、監査委員の選任等に同意する人事案件、令和2年度各会計予算など79議案を可決、同意、適任、採択、不採択と決定しました。

上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

| 議案名 | 審議結果 |
|--|--------------|
| 人権擁護委員候補者の推薦について 人権擁護委員候補者として中川澄子さん、小池みな子さんを推薦するため議会の意見を求めるもの。 | 適任 (全会一致) |
| 下呂市教育委員会委員の任命について 三木朋哉さん、細江洋一郎さんを下呂市教育委員会委員に任命するため議会の同意を求めるもの。 | 同意 (全会一致) |
| 令和元年度下呂市一般会計補正予算(第9号) | 可決 (全会一致) |
| 令和元年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第4号) | |
| 令和元年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | |
| 令和元年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第4号) | |
| 令和元年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第5号) | |
| 令和元年度下呂市下水道事業特別会計補正予算(第5号) | |
| 令和元年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)補正予算(第4号) | |
| 令和元年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算(第2号) | |
| 令和元年度下呂市学校給食費特別会計補正予算(第2号) | |
| 令和元年度下呂市水道事業会計補正予算(第4号) | |
| 令和元年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算(第4号) | |
| 令和元年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第4号) | |
| 事業費の確定に伴う歳入歳出予算の調整、入札差金等の不用額の減額を行うもの。 | |
| 市道の路線認定について 市営三原住宅解体に伴い、少ヶ野23号支線を市道に認定するもの。 | |
| 市道の路線変更について 市営三原住宅解体に伴い、少ヶ野23号線の起終点を変更するもの。 | |
| 下呂市下呂上ヶ平サンビレッジの指定管理者の指定について スポーツマックス・三幸共同事業体を指定管理者として指定するもの。 | |
| 下呂市金山リバーサイドスポーツセンター及び下呂市金山リバーサイドスタジアムの指定管理者の指定について スポーツマックス・三幸共同事業体を指定管理者として指定するもの。 | |
| 下呂市老人福祉施設の指定管理者の指定について あさぎりサニーランド、かなやまサニーランドについて社会福祉法人下呂福祉会を指定管理者として指定するもの。 | |
| 下呂市飛騨川温泉しみずの湯の指定管理者の指定について 株式会社ホリスティック南飛騨を指定管理者として指定するもの。 | |
| 下呂市フィッシングセンター水辺の館の指定管理者の指定について 南飛騨馬瀬川観光協会を指定管理者として指定するもの。 | |
| 下呂市道の駅馬瀬美輝の里の指定管理者の指定について ※1 馬瀬総合観光株式会社を指定管理者として指定するもの。 | |

※1 一木良一議員は除斥

前ページに続き全会一致で可決した議案【市長提出議案】

| 議 案 名 | 審議結果 |
|---|---------------|
| 下呂市道の駅南飛騨小坂はなももの指定管理者の指定について 飛騨小坂観光株式会社を指定管理者として指定するもの。 | 可 決 (全会一致) |
| 下呂市濁河温泉市営露天風呂の指定管理者の指定について 株式会社ノイジーを指定管理者として指定するもの。 | |
| 下呂市道の温泉駅「かれん」の指定管理者の指定について 株式会社かれんを指定管理者として指定するもの。 | |
| 下呂市ゆったり館及び下呂市金山温泉スタンドの指定管理者の指定について 松岡林業有限会社を指定管理者として指定するもの。 | |
| 下呂市いじめ防止等対策推進条例について いじめ防止対策推進法に基づき、市としての体制を整備するもの。 | |
| 下呂市地域コミュニティ施設設置条例の一部を改正する条例について 公の施設の見直し方針に基づき、下呂市東上田集会所を地域に譲与するため条例を改正するもの。 | |
| 下呂市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について フルタイム会計年度任用職員にかかる公務災害の補償基礎額を規定するもの。 | |
| 下呂市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について 職員の赴任にかかる旅費の支給対象等を明確にするもの。 | |
| 下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 令和元年度の人事院勧告を踏まえ、フルタイム会計年度任用職員の給料表を改正するもの。 | |
| 地方自治法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例について 法律の改正に伴い、関係する2つの条例について引用条文を改正するもの。 | |
| 附属機関の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例について 市が設置する附属機関の委員会等の見直しに伴い、関係する7つの条例について改正するもの。 | |
| 下呂市監査委員条例及び下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 議会選出監査委員を選任しないこととするため改正するもの。(詳細はP9参照) | |
| 馬瀬村柿洞谷枯かつ対策基金条例を廃止する条例について 馬瀬村柿洞谷枯かつ対策基金について、基金の設置目的を達成したため当該条例を廃止するもの。 | |
| 下呂市印鑑条例の一部を改正する条例について 法律の施行により印鑑登録証明事務処理要領が改正されたため関係部分を改正するもの。 | |
| 下呂市介護保険条例の一部を改正する条例について 低所得者の保険料軽減措置が完全実施となるため、軽減割合を改正するもの 他。 | |
| 下呂市一時的保育事業条例の一部を改正する条例について 令和2年4月1日からの利用終了時間の延長に伴い、利用料を規定するため改正するもの 他。 | |
| 下呂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 放課後児童クラブ指導員の資格基準及び資格要件の経過措置期間について改正するもの。 | |



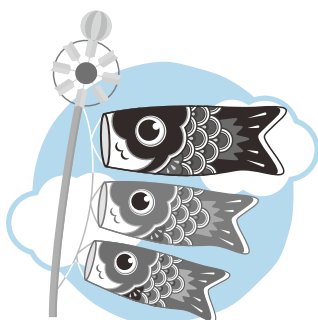
東上田区に譲与する東上田集会所

南飛騨馬瀬川観光協会が指定管理者となる
下呂市フィッシングセンター水辺の館

前ページに続き全会一致で可決した議案【市長提出議案】

| 議案名 | 審議結果 | |
|---|--------------|--------------|
| 下呂市家畜診療等手数料条例について 飛騨農業共済事務組合に設置されていた家畜診療所の閉鎖に伴い、市が家畜診療業務や家畜伝染病に対する予防業務を継続して行うため手数料の徴収等について定めるもの | 可決 (全会一致) | |
| 下呂市農林漁業研修施設条例を廃止する条例について 公の施設の見直し方針に基づき、下呂市馬瀬北部研修センターを地域に譲与するため条例を廃止するもの。 | | |
| 下呂市農林水産物等生産加工展示販売施設条例の一部を改正する条例について 下呂市馬瀬農林水産加工展示販売施設について、施設の解体撤去が決定されたことに伴い改正するもの。 | | |
| 下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 農業委員会委員、農地利用最適化推進委員の報酬の加算年額を改正するもの。 | | |
| 下呂市分担金徴収条例の一部を改正する条例について 下呂市における農地災害、農業用施設災害、林道災害及び林道改良事業に要する費用又は経費にかかる分担金の軽減を図り事業を推進するため改正するもの。 | | |
| 下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について 市営住宅の入居者資格の緩和と、老朽化した市営住宅を用途廃止するため改正するもの。 | | |
| 下呂市一般住宅の設置等に関する条例の一部を改正する条例について 一般住宅のCATV視聴料相当分の加算に伴う住宅使用料を改正するもの。 | | |
| 下呂市消防関係手数料条例の一部を改正する条例について 法律の改正に伴い関係部分を改正するもの。 | | |
| 下呂市市民会館条例の一部を改正する条例について 星雲会館1階ロビーを円滑な公用利用ができるよう、使用許可対象から外すため改正するもの。 | | |
| 下呂市立小中学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例について 金山小学校、下原小学校、菅田小学校及び東第一小学校を統合するため改正するもの。 | | |
| 財産の譲与について 下呂市東上田集会所の建物を東上田区に譲与するもの。 | | |
| 財産の譲与について 馬瀬北部研修センターの建物及び土地を数河区に譲与するもの。 | | |
| 財産の無償貸付について ※1 下呂市美輝の里関連土地のうち譲渡には適さない土地を馬瀬総合観光株式会社は無償貸し付けするもの。 | | |
| 令和2年度下呂市下水道事業会計への繰出について 全ての収入を充てても不足する下水道施設の維持管理等に必要な経費を一般会計から繰り出しするもの。 | | |
| 令和2年度下呂市立金山病院事業会計への繰出について 金山病院医師住宅2棟の解体工事費を一般会計から繰り出しするもの。 | | |
| 下呂市監査委員の選任について 今井能和さん、都竹基己さんを下呂市監査委員に選任するため、議会の同意を求めるもの。 | | 同意 (全会一致) |

※1 一木良一議員は除斥



円滑な公用利用ができることになる星雲会館1階ロビー

前ページに続き全会一致で可決した議案【①は市長提出議案 ②は陳情】

| 議 案 名 | | 審議結果 |
|-------|---|---------------|
| ① | 令和2年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算 | 可 決 (全会一致) |
| | 令和2年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）予算 | |
| | 令和2年度下呂市下呂財産区特別会計予算 | |
| | 令和2年度下呂市学校給食費特別会計予算 | |
| | 令和2年度下呂市水道事業会計予算 | |
| | 令和2年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算 | |
| | 令和2年度下呂市立金山病院事業会計予算 | |
| | 令和2年度の各特別会計及び各企業会計が事業を行うための当初予算 | |
| | 令和元年度下呂市一般会計補正予算（第10号） | |
| | 県営中山間地域総合整備事業の事業費が増額となったことによる県営事業負担金の増額補正。 | |
| ② | 令和元年度下呂市一般会計補正予算（第11号） | 採 択 (全会一致) |
| | 子ども・子育て支援臨時交付金の算定額の補正に伴う基金積立金の増額補正 他。 | |
| ② | 令和2年度下呂市一般会計補正予算（第1号） | 採 択 (全会一致) |
| | 新型コロナウイルス感染拡大の影響による支援策としての中小企業緊急支援融資補給事業費の増額補正予算。 | |
| ② | 地域シニアクラブ連合会の担当者設置に関する要望 | 採 択 (全会一致) |
| | 地域ごとのシニアクラブ連合会における事務に対する支援と担当者の設置を要望するもの。 | |

○賛否が分かれた議案【①は市長提出議案 ②は陳情】

○…賛成 ×…反対

| 議 案 名 | 議 員 名 | | | | | | | | | | | 審議結果 | | |
|-------------------------------------|--|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|------|----------|---------------|
| | 尾里 集務 | 中島 ゆき子 | 田中 副武 | 今井 政良 | 各務 吉則 | 宮川 茂治 | 中島 博隆 | 伊藤 嚴悟 | 一木 良一 | 吾郷 孝枝 | 中島 新吾 | | 中島 達也 | 中野 憲太郎 |
| ① | 下呂市行政組織条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | 可 決 (賛成多数) |
| | 市長公室企画課に情報管理室を設置し、情報施策及び庁内情報管理を一体的に進めるもの。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 下呂市手数料条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | |
| | 個人番号カードの普及と利用を促進するため、コンビニエンスストアでの各種証明書発行手数料を減額するもの 他。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | |
| | 令和2年度分国民健康保険税の税率及び税額を改めるもの。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 下呂市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 法律の改正に伴い、関係部分を改正するもの。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 令和2年度下呂市一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | |
| | 令和2年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | |
| 令和2年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | | |
| 令和2年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | | |
| 令和2年度下呂市下水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | | |
| 令和2年度の一般会計、各特別会計及び企業会計が事業を行うための当初予算 | | | | | | | | | | | | | | |
| ② | 飛騨はぎわら牛生産組合に関する要望 | × | × | × | × | 棄 権 | × | 除 斥 | ○ | 棄 権 | 棄 権 | × | ○ | 不採択 (賛成少数) |
| | 飛騨はぎわら牛生産組合から(株)飛騨畜産への事業並びに不動産の無償譲渡に係る民事裁判の判決について、判決を受け議会として対応を要望するもの。 | | | | | | | | | | | | | |

令和2年度下呂市当初予算は合併以降3番目の規模

◆一般会計 《福祉・公共事業など幅広い住民サービス》

224億1000万円 (対前年比 5.5%増)

◆特別会計 《国民健康保険、介護保険など特定の事業7会計》

82億7168万円

◆公営企業会計 《上下水道、病院事業など4会計》

72億4342万円

下呂市の下水道事業は、令和2年4月から地方公営企業法の全部を適用し、これまでの官庁会計から、公営企業会計に移行しました。

3月12日、13日、16日、17日の4日間にわたり、予算特別委員会を開催し、令和2年度一般会計、7特別会計、4公営企業会計について審査し、全て可決すべきものと決しました。一般会計予算のうち、観光交流センター(仮称)を下呂温泉街に建設する予算や、小学校校舎の長寿命化、一般廃棄物新最終処分場整備などインフラ整備を含め、合併以降3番目の大型予算となりました。主な審査内容は次のとおりです。

《今後の財政運営の見通し》

Q 令和2年度事業の、大型事業に合併特例債を活用しているが、合併特例債の今後の見通しは。

A 合併特例債の発行限度額は約19.6億円です。令和2年度までに約18.6億円を活用し、残りが約10億円となります。令和3年度の新最終処分場整備に約8億円を充てる予定で、残りの約2億円は、令和5年度までに学校の長寿命化等に充てていきたいと考えています。

Q 合併特例債を発行することで借金が増えていく。今後の財政運営への影響は。

A 歳出削減を進めながら、事業実施のため有利な市(地方)債の活用を検討します。また災害等の有事に備えるためにも、財政調整

基金も計画的に積み立てし、基金残高として30億円は維持していきたいと考えています。

《停電対策としてのライフライン保全対策事業》

Q 一昨年の停電災害を受け、積極的にライフライン保全対策事業を実施するべきでは。

A 市内には延長100キロメートル以上の電線がある中で、地権者の承諾を得ながら、優先順位をつけて実施していきます。また、市単独事業として実施することも検討していきます。



停電対策が必要な道路沿いの山林

《市民の防災意識高揚》

Q 市民の意識高揚のための具体的な取り組みは。

A ハザードマップ更新作業の中で、ワークショップを通じて防災の意識づけや、出前講座を通じて防災意識の高揚を図っています。

《下呂地域集落支援事業》

Q 令和2年度に設置される集落

支援員の役割は。

A 人口減少が進む上原、中原地域に配置し、集落点検や地域づくり団体の支援など地域課題の共通認識の形成と活性化対策を推進するほか、地域と行政をつなぐパイプ役も担っていたらできればと考えています。

《高齢者運転免許講習施設支援事業》

Q 教習所支援の目的は。

A 市内の70歳以上の高齢者免許保有者の約8割が利用していることや高齢者が市内の施設で、免許更新に係る講習を受けることができるよう、施設の存続を目的に支援していくものです。

《福祉パスポート運営事業》

Q 利用者が減少しているが、料金の減額を含めて見直す必要はないか。

A 値上げによりパスポートを買い控えされた方があるものの、バスを頻繁に利用され、バスを唯一の交通手段とされる方が購入を継続されていると考えます。現在のところ値上げの苦情も届いていません。

《介護職員確保対策事業》

Q 介護職員研修の状況、人材バンクの状況は。

A 令和元年度の初任者研修の参加者は7名で、すべて資格取得につながっています。令和2年度は、

10名の定員で初任者研修を予定しています。人材バンクの登録者数は、令和2年1月末現在31名です。

Q 《ひとり親家庭等日常生活支援事業》
ひとり親家庭における日常生活支援事業のニーズは、これから増えてくると考えるが、利用実績はあるのか。

A 今回の事業の利用者はありません。この事業は寡婦・寡夫の出張など仕事の都合や病気により、子どもの保育に支障をきたす場合、食事の準備など家事を担うヘルパーを派遣するというものです。児童福祉課に窓口を設けており、相談に応じることとしています。

Q 《スマート農業技術導入支援事業》
平地は大型機械を導入し大規模化するのはいいが、兼業農家や家族経営する小規模農家も守っていく必要があるのでは。

A 市内の建設業者を対象に一般競争入札を予定しています。事業規模が大きいことから、共同企業体等にするのか契約担当課である財務課と協議しながら進めていきます。

Q 《河川・排水路補修事業》
災害により河川に堆積した土砂除去に国の緊急浚渫推進事業費を活用しては。

A 令和2年度は委託料として150万円を予算計上しています。河川の土砂堆積による災害も大変心配されることから、普通河川を含め、堆積している場所等を調査し、国の制度も活用しながら対応していきます。

Q 《介護予防・生活支援サービス事業》
在宅介護支援券は、理美容にも使えるということだが、具体的な内容は。

A 市内の理美容店が要介護者の自宅に出張し、理美容サービスを提供する際、出張費1000円を支援します。介護を必要とする高齢者も身だしなみを整えるということは、気分的にも違ってきます。まずは、こうした支援を行い、令和2年度はケアマネージャーと相談しながら支援券対象品目を増やしていきたいと考えています。

Q 《一般介護予防事業》
ふれあいサロン見直しの内容は。

A 令和2年度予算では、従来どおり講師代や会場使用料、タクシー代助成の予算を計上しています。令和2年度中に地域での自主運営に向けて見直しを進めます。また、令和2年度には、医療費削減や介護予防を目的に、500名の高齢者を対象とした体力測定を実施する予定です。

Q 《金山病院事業会計》
金山病院の今後の医師招へいの見込みは。

A 常勤の医師は内科3名、外科3名、小児科1名、歯科1名の8名で、すべて岐阜大学医学部から来ていただいています。現在、内科医師が1名不足の状態となっていますが、令和2年4月からは市の奨学金を利用した医師に来ていただけることになりました。また、外科では専攻医1名の派遣も予定されています。

Q 医師の住環境整備の方針は。

A 令和2年度は、老朽化した2棟の住宅を解体します。他の住宅も老朽化が進んでいますので、国の補助制度を活用し、できる限り病院の近くでの整備を検討しています。

Q 《環境衛生施設整備事業》
新最終処分場整備は、地元業者へ発注を。

業者へ発注を。



金山病院

産業経済 常任委員会

3月10日、委員会を開催し、付託された15議案について審査した結果、14議案について全会一致で可決すべきものと決しました。また、飛騨はぎわら牛生産組合に関する要望は、賛成少数で不採択とすべきものに決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市道の駅南飛騨小坂はなももの指定管理者の指定について』

(飛騨小坂観光株式会社を指定管理者として指定するもの)

Q 飛騨小坂はなももは非常に頑張っているが、経営状況はどうなっているか。

A 平成30年度は7月の災害などの影響で客足が伸びず、当期の純利益は赤字となりました。

Q 今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響で指定管理を受けられる方は今後の運営について非常に心配していると思うが、今後の見通しは。

A レトルトカレーなどの販売促進に努めるとともに、中小企業診断士に指導をいただきながら、経営改善について話し合いを進めています。

『下呂市農林漁業研修施設条例を廃止する条例について』(公の施設の見直し方針に基づき、下呂市馬瀬北部研修センターを地域に譲与するため条例を廃止するもの)

Q 公の施設の見直し方針により、地域に施設を譲与することのこただが、地元で維持管理ができるのか。

A 地元で年間の維持管理費用を示し、合意をいただいたうえで譲与することとしています。

『下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について』(市営住宅の入居者資格の緩和と、老朽化した市営住宅を用途廃止するもの)

Q 入居資格がどのように緩和されるのか。またこれによる対象者はいるのか。

A 入居資格には市町村税の滞納が無いものと規定していますが、明らかに住居に困窮している方で、分納により税金を納付している方など経済的状況等に配慮しなければならぬ方が対象となります。現在は対象者はいませんが、過去には当該事由で入居できない方もありましたので、入居条件を緩和したものです。



総務教育民生 常任委員会

3月11日、委員会を開催し、付託された議案については全て可決すべきものと決しました。また、地域シニアクラブ連合会に関する要望は全会一致で採択すべきものに決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市いじめ防止等対策推進条例について』(いじめ防止等対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針を定めるもの)

Q 市内におけるいじめの現状は。

A 過去3年間のいじめの認知件数は、平成29年度117件、平成30年度123件、令和元年度2月未現在112件となっています。学校現場では、いじめの程度的大小にかかわらず実態を見逃さないよう努めています。

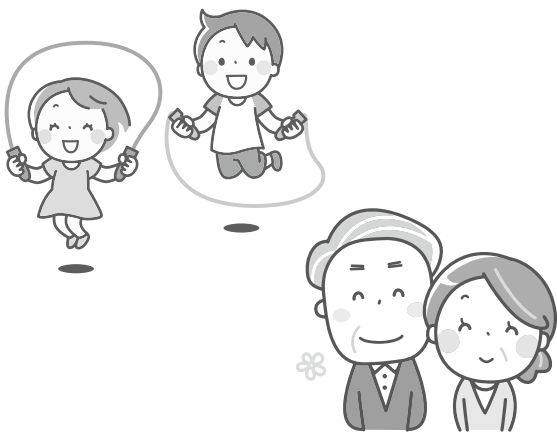
Q 条例の規定に基づき、常設されるいじめ問題対策連絡協議会は、どのような構成で組織されるのか。

A 現在、学校で組織されている生徒指導研究協議会を母体として組織し、関係機関・団体相互の連絡調整を図っていきます。

『地域シニアクラブ連合会の担当者設置に関する要望』(地域ごとのシニアクラブ連合会の事務に対する行政支援と、地域活性化に向けた相談窓口となる担当者の設置を要望)

Q シニアクラブに限らず、他の市民活動も合わせて、総合的に行政支援のあり方を検討していくとの考えだが、要望されているシニアクラブに関しては先行した検討ができないか。

A 金山地域のシニアクラブ連合会の事務支援に関しては、早急に対応する必要があると認識していますが、まずは地域内の市民活動団体等との話し合いの場を設け、検討を進めていきたいと考えています。



議会活動に専念するため市の監査委員を議員のうちから選任しないことに【県内初】

下呂市議会は、議会活動の強化・活性化を図るため、3月定例会最終日に市長から提出された“議員のうちから市の監査委員を選任しない”こととする議案(下呂市監査委員条例及び下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について)に全会一致で賛成しました。

これまで、市の監査委員2人のうち1人は、議員のうちから選任した監査委員とすることが法律によって義務付けられていましたが、平成29年に法律が改正され、市の条例で“議員のうちから監査委員を選任しない”旨を定めることにより、議員以外の方を監査委員に選任することが可能となったことを受け、条例改正されたものです。

今後、目まぐるしく変化する社会情勢の中、14人という少ない議員定数で、市政の監視機能や円滑な議会運営を保ちながら、より良い下呂市づくりを進めるためには、全議員が議会活動に専念すること、また、議会と監査それぞれの役割をしっかりと果たしていくことが求められます。

この取り組みは県内初となります。今後、2人の識見を持つ監査委員による新たな体制となることから、より充実した監査の実施が期待されます。

令和元年度に開催した

『市民と議会との意見交換会』を受けて

産業経済常任委員会

「市民と議会との意見交換会」において出された意見で、産業経済常任委員会に引き継がれた研究事項『河川氾濫による浸水害対策』・岩屋ダム管理運用(緊急放流と予備的放流等)について、1月21日に岩屋ダム管理所を訪問し説明を受けました。

豪雨時にダムに流れ込む水量の一部をダムに貯める洪水調節の仕組みなどについて具体的に説明を聞きました。平成30年7月豪雨以降の取り組みとして、放送警報設備の改造、異常洪水時防災操作における警報や、音声放送の見直しなど、市民の不安解消に向け、いくつかの改善がされていきました。

一方、事前放流(予備的放流)については、濁水などに配慮しながら一定量の利水を貯めておく必要もあり、必要以上の事前放流は難しいことがわかりました。

当委員会は今回の調査を踏まえ、市、県、ダム管理所がより一層連携し、市民の不安を解消することができるよう市に必要な提言をしていくとともに、委員会でも調査研究を進め問題解決に努めていきます。

総務教育民生常任委員会

「市民と議会との意見交換会」で、児童・生徒への虐待や不登校・引きこもりへの対応、子育てに悩み孤立している保護者への支援など、今すべきことは何かなどと問題提起がされました。それを踏まえ、3月11日に開催した総務教育民生常任委員会において、「将来を担う子ども達の健全な育成に向けて」をテーマとして、調査研究を行いました。委員会では執行部担当課より、支援の現状の報告を受け、困難事例については、専門機関で構成するネットワーク会議等を通じ情報共有を行い、各機関が役割分担しながら支援にあたっているとの説明がありました。

また、学校では、児童・生徒たちが気軽に相談できる体制を整え、2カ月ごとに行う心のアンケート、中学校へは教育相談員の配置といった工夫がされていることがわかりました。当委員会では、今回の調査研究活動を踏まえ、議会全体で共有しながら、市民の皆さまの声を反映した政策の提言につなげていきたいと考えています。

一般質問 12人が市政を問う



4番
今井政良議員

新型コロナウイルス感染拡大による影響と市の対応について

①市内における現在の状況と市としての対応は。

◆健康福祉部長

1月31日に対策本部を立ち上げ、予防に関するチラシの配布や、マスク不足に対応するため、要援護者が入所する施設等に対して備蓄マスクを配布しました。2月7日には、下呂温泉病院の要請により高性能マスク約2千枚と、その後追加で約2千枚を配布しています。

②市内の観光施設、宿泊施設における観光客への対応は。

◆観光商工部長

観光施設にアルコール消毒液の設置や、手洗い・うがいの徹底と試食の禁止などを促しています。また各宿泊施設では従業員のマスクの着用や、アルコール消毒による感染予防や手洗いの徹底、チェックアウト後に客室の消毒などを実施し、予防に努められています。

子育てと福祉の充実のため必要な施策は

①子育て支援策として給食費無料

化の考えは。

◆健康福祉部長

財政が厳しい現状であり、こども園の給食無償化は難しい状況です。このことについては、保護者の皆さまのご理解をいただくため、説明をしていきます。

②医師確保の重要性について。

◆市長

市内には18の個人医院、診療所があり、10年後には6割の医師が75歳以上になり、医師の高齢化も課題となっています。このため、令和2年度に、下呂市の医療指針でもある下呂市医療ビジョンの中間見直しを実施します。

③介護施設内で介護職員を補助する介護ロボットの導入計画は。

◆健康福祉部長

介護現場における省力化・機械化を支援するため、令和2年度に新たな補助金として、500万円の予算を計上しました。移乗支援や移動支援、排せつ支援、入浴支援などの各場面における介護ロボットや介護機器などの導入を支援するものです。

④下呂市地域水道ビジョンについて

水道水の安定供給のため、水道管の経年劣化による布設替えの計画とその財源は。

◆生活部長

今後、包括委託業者とともに更新計画を策定し、優先度の高いところから進めていきます。



2番
中島ゆき子議員

下呂市に譲与される1年間で約1億6千万円の森林環境譲与税の活用について

①令和元年度における森林環境譲与税を活用した事業内容は。

◆農林部長

制度を市民の皆さまに周知するため、パンフレットを購入して各戸へ配布しました。また森林所有者の森林管理に関する意向調査を実施するため、土地台帳と地番図を組み合わせた、林地台帳の整備を進めています。

②令和2年度の事業計画は。

◆農林部長

森林所有者の意向調査や、森林を集約化して林業事業体へ情報を提供する組織づくりに取り組んでいきます。また、人材不足や高齢化に対応するため、グラップルやフォワードといった高性能林業機械をレンタルした時の費用の一部を助成します。

開設して2年が経過した東京事務所について

①東京事務所の主な活動内容は。

◆観光商工部長

関係人口といわれる方々との交流や増加促進、イベントの開催などのシティブロモーション業務と、駐在事務所としての業務を行っています。

②今までの成果と今後の取り組みは。

◆観光商工部長

ふるさと下呂意見交換会・交流会をこれまで3回開催し、下呂のファンを増やしています。昨年度は3名が下呂市に移住しました。また4月には、新規就農予定のご夫婦に移住いただくなど、確実に実績として成果が出ています。

下呂市の放課後児童クラブについて

①市内各地域の運営状況は。

◆健康福祉部長

年間を通じて開設されているのが小坂小学校、尾崎小学校、萩原小学校、下呂小学校、竹原小学校、金山小学校の6校で、長期休暇の期間のみの開設が上原小学校、中原小学校、馬瀬小学校の3校となっています。

②金山地域の小学校統合後の児童クラブの体制は。

◆健康福祉部長

金山地域には、遊休の公共施設がいくつかあるので、どこを利用するかは、統合委員会の意見を伺いながら検討していきます。



9 番
伊藤 厳 悟 議員

危機管理対策について

①ウイルス感染拡大等への対策は。また市内医療機関等の連携体制は。

◆市長

国は新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正をしています。下呂市は下呂市新型インフルエンザ等対策本部を設置していますが、特別措置法についても遵守していきたいと考えます。医療関係との連携については、情報共有が大変重要であり、常に市のトップとして連絡をとることができる体制をとっています。

②災害等危機管理に対応した道路網の整備について。

◆市長

一昨年の豪雨災害を受けて、改めて道路整備の重要性を実感したところです。国道41号の屏風岩改良は、ボーリング調査も完了し、令和2年度に向け動き出しています。また門原防災は、令和元年度の補正予算で2億5千万円規模の事業が実施されます。濃飛横断自動車道では、再三要望を繰り返した結果、下呂〜中津川間の難所

ある費の神峠について拡幅等の設計が進められています。

北部学校給食センターについて

公募による用地選定で跡津の広大な土地を提供いただき、14校に給食を提供する大規模な給食センターの運用が開始され約7カ月が経過した。現在の状況と問題などがないか伺う。

◆教育部長

一部不具合があり学校や児童生徒に迷惑をかけたこともありませんが、その都度、原因を確かめ手順を見直すなど、安全でおいしい給食の提供に努めています。作業手順や機器の操作などが大きく変わったことから、現場の職員は苦労も多かったと思いますが、毎日話し合いを重ね、翌日の作業内容や手順を確認するなどして、円滑に運営しています。

図書館建設計画について

図書館建設計画の進捗状況は。

◆市長

下呂市立図書館あり方研究会を設置して、下呂市における図書館のあり方を検討いただいています。3月末には私のところへ提言書を提出していただけることになっています。その提言内容を含め多くの人の意見を伺うとともに、令和2年度は、提言を基に下呂市産材の有効活用と林業の活性化にもつなげるよう、図書館整備に向け基本構想を策定していきます。



3 番
田中 副 武 議員
(公明党)

子育てについて

改正子ども貧困対策推進法が成立し9月7日に施行された。

①貧困対策に関する計画の策定が努力義務となった。下呂市の対応や考えは。

◆市長

子どもの貧困対策については、令和2年度から5年間の期間で開始する第2期子ども子育て支援事業計画において、対応していきます。

②貧困対策と同時に親子を切れ目なく支援する「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の設置が盛り込まれている。どのように連携を図るのか。

◆健康福祉部長

子育て世代包括支援センターが、母子手帳の交付や妊婦検診、赤ちゃん訪問などの各種事業で把握した支援または保護の必要な児童や家庭への支援など、子ども家庭総合支援拠点と連携し、必要な福祉施策に速やかにつなぐようにします。

③子育て中の保護者から、「安全で安心して遊べる公園を」とのご

意見があり、各地域で整備計画があるように聞いているが進捗は。

◆市長

各振興事務所に市有地で公園として利用できる場所はないか、現在ある公園の利用はどうか調査の指示をしました。市内各所で安心して子供たちを自由に遊ばせる、伸び伸びと育てることができるとしては、課題の整理を含め、令和2年度から計画的に整備を進めていきます。

防災について

①災害時応援協定を結んでいる地域の業界団体との情報共有について、市の考えは。

◆市長公室長

災害時応援協定締結団体は42団体、令和元年度約15の協定団体との連携訓練を実施しました。情報共有が万全となっていない組織もありますが、訓練方法を工夫し、関係部局と協議しながら各団体との情報共有に努めます。

②新規事業として下呂市国土強靱化地域計画を策定するとしているが私が質問してから4年が経過しており、総合計画など各種計画との整合性がとれたのか。

◆市長公室長

災害復旧が一段落する令和2年度を機に、地域計画を策定します。計画の目的や方向性は、下呂市第二次総合計画をはじめとする各種計画と整合するものと考えています。



12 番
中島新吾議員
(日本共産党)

振興事務所機能の充実が必要

振興事務所機能は「3つの柱」を方針とするが、広域な市の周辺部の今後のためには、その方針の見直しが必要とされている。執行部は職員数や労働条件なども検討課題としている。中でも災害対応、危機管理体制の強化のためにも振興事務所の機能充実が必要。

◆総務部長

振興事務所の防災体制について、災害の恐れがある場合には振興事務所と防災担当部署が事前に体制を整え、打ち合わせを行い、職員を配置することとしている。

地域医療を守る

公立・公的病院の再編、統合を迫る安倍政権の強引な計画に、市と市長は明確な抗議の姿勢を示すべく、医療は市民の生命・健康とくらしを守り、持続可能な地域のためになくてはならないもの。市の地域医療をしっかりと守り充実させるための施策を問う。病院が災害時に機能できる道路等の整備は早急に進める必要がある。

◆健康福祉部長

下呂市医師会の先生、診療所、病院が連携し、支え合うことができる体制の構築が重要と考えます。高山市や郡上市では、へき地における医療連携法人を立ち上げ、体制を整えつつあります。下呂市においても、2月3日にそうしたことも見据えながら協議をスタートさせました。

農業を持続させるために

農業を持続させるために、農地集積などの現状と到達点、その中の課題は何か。小規模・家族経営を担い手として位置付けた支援が必要。

◆農林部長

下呂市の農業施策は、大規模農家の競争力の強化だけを意図したものではなく、小規模な農家の皆さまの頑張りで維持されてきた優良農地、素晴らしい農村環境を次世代につなげるよう実施しています。人・農地プランにおいては、5年後10年後に自分たちの地域の農地がどうなっていくのかを図式化・可視化を行い、話し合う機会となりました。このプランを中心に、より良い地域農業、農村環境になるよう市も一緒に考えていきます。



1 番
尾里集務議員

高齢化社会のために

①高齢者の安全運転支援装置の購入に対する助成制度は。

◆市長

岐阜県は、後付けの急発進等抑制装置の導入に、75歳以上の高齢者が自己負担する額に対して、国の補助金を除いた額を市町村へ補助する制度を、令和2年度の1年限りで創設すると発表しました。下呂市は当該事業に取り組みたいと考えており、補助額は1件あたり1万円の予定です。

②運転免許証の自主返納者に対する支援措置は。

◆健康福祉部長

福祉の増進を図るため、福祉バス乗車券を交付しています。また、地域特性に応じた移動販売に対する支援や高齢者運転免許講習施設への支援など、既に高齢者の生活を支えるさまざまな事業を実施しています。

地域再生計画について

下呂温泉街を中心とする市有地を活用した整備の中に観光交流センター（仮称）の計画が示されたが

建物をもっと下呂市らしいインパクトのあるものにできないか。

◆観光商工部長

外観は景観にも配慮しシンプルではありますが、トラス構造の片屋根として室内を広く活用できるように工夫しています。また、岐阜県産材の木材をできるだけ使用し、温泉と森林のまちをアピールするとともに、ホスピタリティ都市宣言の下呂市として、情報の一元化と発信ができる施設として計画しています。

森林環境譲与税を活用した新たな取り組みについて

①森林関連法令の見直しを踏まえ森林環境譲与税が創設されたが、下呂市の新年度予算における重点施策、新たな取り組みは。

◆農林部長

四つの柱で取り組んでいきます。一つ目は森林整備の促進。二つ目は健全な森林（もり）づくりへの取り組み。三つ目は木材利用の促進。四つ目は安心安全な生活と次世代へ向けた啓発活動です。

◆農林部長

10年以上森林整備が行われていない森林を中心に、所有者の意向調査を実施し、市に管理を任せたいという森林を集約し、森林整備が必要となることから、枝打ちや間伐などの整備を進めます。



11 番
吾郷孝枝 議員
(日本共産党)

高齢化に伴う難聴問題への市の取り組みは

高齢化が進んでいる下呂市が早急に取り組まなければならないことのひとつに、高齢者の難聴対策が挙げられます。加齢性難聴への対策は高齢者の社会参加促進や認知症予防など健康維持にもつながります。市として本腰をいれて、初期段階から系統的な取り組みを具体化すべきではないか。

◆健康福祉部長

加齢性難聴者を含めた難聴者の補聴器購入に対する補助について、国レベルで現行制度の見直しが議論されつつあります。国の議論等も踏まえ、今後の対応について検討していきます。

介護予防とリハビリ、認知症予防の取り組みへ積極的な支援を

①小坂老人保健施設に送迎サービスが無いのは問題です。リハビリに重点を置く老人保健施設の役割からも早急に改善を。

◆健康福祉部長

小坂診療所では車いす利用者専

用車両を所有しており、当該車両の使用状況を見ながら、まずは現在の環境で対応ができるのかを、診療所運営会議で検討を行います。人員の確保を含め、すべての環境を整えば実施は可能です。

②地域で取り組むサロンや体操教室などに参加しやすいよう、移動困難な方へは玄関から玄関までの送迎支援も含めて介護予防の活動として支援できないか。また温水プールやスポーツジムなどの施設を活用した筋力・体力づくりは、転倒予防や健康づくりに効果的です。介護予防の活動として支援できないか。

◆健康福祉部長

温泉施設や運動施設、住民などを含めた多様な主体がサービス提供者になり得るものと考えています。送迎などについても所有車両等を活用することで主体として対応できることもあると考えます。市としては、既存の施設や人材を活用し、地域の実情に合わせた多様なサービスの充実を図ること、元気な高齢者を増やしていきたいと考えています。



8 番
中島博隆 議員

災害に強いまちづくりに向けて

一昨年下呂市に多大な被害をもたらした災害を教訓とし、未然に防ぐ手段として森林環境譲与税を有効に活用し、道路や電線に倒れそうな立木の伐採を積極的に実施することはできないか。

◆農林部長

道路や電線などのライフラインを倒木災害から守ることは、重要な施策のひとつですが、これらの事業は線的な事業となり、本来の面的な森林整備を達成する意図から少し離れます。重要なライフラインを含めて面的な森林整備ができる場所があれば、森林環境譲与税の活用も可能と考えます。

金山4小学校の統合に向けて

金山4小学校の統合に向け、今後の日程と問題点があれば伺う。

◆教育長

2月27日、統合準備委員会を立ち上げ、五つの部会を設けて準備を進めています。学校経営部会では、新しい学校の教育目標、教育課程等学校経営全般を決めています。

ます。PTA部会では、新しいPTA活動のための組織、また、登下校のスクールバスの運行等を協議していきます。校歌、校章部会では、新しい学校の校名・校歌・校章を決めます。開校、閉校部会では、各校の閉校並びに開校に伴う記念行事などを協議していきます。広報、協働部会では、準備委員会の進捗状況を広報するとともに、統合後の地域での子育てについて意見交流をしていきます。何より、児童にとってより良い教育環境を提供することが最大の目的です。常にそのことを念頭に置きながら進めていきます。また、統合を進めるにあたり、さまざまな予算措置が必要となりますが、こちらについては、進捗に合わせて令和2年度の補正予算で対応する必要があります。



統合後の校舎となる現在の金山小学校校舎



7 番
宮川 茂 議員
(日本共産党)

下呂地区市街地の主要な観光地域に「サル注意」の看板を

ここ最近になって、下呂地区湯之島や森周辺にサルが出没し、観光客が襲われたといった情報もある。観光客に注意を促すため、人通りが多い場所に「サルに注意」といった看板をつけるべきではないか。

◆観光商工部長

街歩きの出点となる温泉街として景観への配慮も必要のため、看板の設置については考えていません。注意喚起が重要と考えることから、各旅館や商店、観光案内所とその近隣の住民にご協力をお願いし、国内外の観光客への呼びかけや、ホームページ、張り紙などで周知を図っていきます。

妊産婦の窓口負担を健診以外の症状、病気にしても無料にできないか

市内の妊婦さんが安心して出産できるように、健診以外の医療費を市で負担することはできないか。

◆健康福祉部長

医療費の自己負担分の助成制度については、現状実施している補助金制度などと合わせ、支援の必要性について検討していきます。

一昨年の豪雨災害における被害箇所の河川上流の状況について

一昨年の豪雨災害の原因として、支流河川の上流に大きな問題があったと考えられる。えん堤を設けるなど被害を最小限にするための措置が必要では。

◆建設部長

危険と思われる支流河川は、市民の情報や要望に基づいて現地を確認も行っており、下流域に被害を及ぼす恐れがある箇所には、調査後、砂防えん堤の設置等、県に対して要望していきます。

もっと非核平和都市宣言のアピールを

現在ホームページ上に非核平和都市宣言のことが掲載されているが、市役所内の玄関や人通りの多い場所に「非核平和都市宣言のまち」といった看板、ポスターなどは設置できないか。

◆総務部長

核のない平和な世界の実現に向けた活動を、今後も切れ目なく進めていきたいと考えており、新年度予算の中で対応していきます。



13 番
中島 達也 議員

令和2年度の行政運営について

①防災、国土強靱化の取り組みについて、一昨年の災害の検証と教訓をどう生かすのか伺う。

◆市長

国土強靱化地域計画の策定に当たっては、現状認識をもとに、一昨年の災害の課題や教訓を踏まえる必要があります。下呂市で想定される最悪の事態を回避するため、ハード・ソフトの両面の幅広い分野にわたって、市の置かれている現状を明らかにしながら、今後実施すべき対策を検討し、計画に盛り込みます。

◆市長

②超高齢化社会にどう対応していくのか伺う。
高齢化は悲観すべきことではないと思っています。医療の進歩、食生活等の改善により、平均寿命も延び、健康寿命への意識も高くなっていきます。いかに健康寿命を延伸していくか。高齢者の方々がこの下呂市で生きがいを持って明るく暮らしていただくことが重要です。こういったことから今進め

ている健康増進政策を含め、地域一体となって世代を広く超えた枠で交流することが重要です。また高齢化に向け地域間の連携が必要になってくると思われま。高齢者は経験も知識も豊富です。お知恵を拝借しながら活躍していただくことが、下呂市の将来に大きくつながっていくものと考えています。

③厳しい財政について、給付金増大の国保事業、老朽化対策を含めた上下水道事業の取組みを伺う。

◆市長

一人当たりの医療費の増加が予測されるため、国保会計の安定的な財政運営のために、特定健診の受診勧奨や保健指導などの取組みを引き続き行い、医療費の適正化を図るとともに、「健康づくり」を進めていきます。

◆生活部長

水道事業は、令和2年度中に、長期にわたる安定的な財源確保と計画的な施設更新に向けた経営戦略を練り直し、包括委託業者から専門的な意見も聞きながら、更新計画を立てていきます。また、水道料金の改定についても検討を始めていきます。

下水道事業も公営企業会計に移行しますので、施設の老朽化対策や統廃合を見据えた経営戦略の見直しを進めていきます。



10 番
一木良一 議員

こども園バス、スクールバスについて

こども園バス、スクールバスの地域ごとの利用状況と維持費は、また取得年月日や更新計画は。

健康福祉部長

わかばこども園はバス2台で、1日あたり32人が利用、たけはらこども園はバス2台で35人が利用など、こども園や子育て保育ステーションを含め合計で235人の子供たちが利用しています。車両の更新は走行距離20万キロ、使用年数20年を目安にしていますが園児の安全を第一に更新を検討していきます。

◆ 教育部長

スクールバスの延べ利用人数は580人程度です。維持費については委託の方法が異なっており一概には言えませんが、修理費は1台あたり年間50万円程度必要です。累計で20年ほど経つと1千万円程度の修理費が必要となってきます。

スクールバスなどの運行にかかる費用は遠距離通学補助を含め約7千万円となっています。スクー

ルバスの状況は市所有の9台のうち4台が20年を超えています。また3台が20万キロを超えて使用しており、老朽化が進んでいるのが現状です。

健康ポイント事業について

ポイント交換は、各地域振興事務所一カ所では不足している。地域の交通弱者に対するきめ細かい配慮と、対象者の利便性を図ってほしい。委託などをしてポイント交換場所を増やすことはできないか。

◆ 健康福祉部

振興事務所に限らず色々な所でできないか検討していきます。

有害鳥獣つなぎ処理施設について

①有害鳥獣つなぎ処理施設の稼働状況と課題は。

◆ 農林部長

今年2月末までの実績として、持ち込み頭数はイノシシ29頭、ニホンジカ92頭、ツキノワグマ13頭の計134頭です。11月以降の月平均の持ち込み頭数は約25頭です。令和2年度は委託業務の見直しと受け入れ日も平日の月曜日から金曜日とするよう調整中です。

②北部だけでなく南部に冷凍保管倉庫の整備を。

◆ 市長

今後の需要頻度を勘案しながら必要となれば、冷凍庫などを令和2年度の補正予算で対応していきます。



14 番
中野憲太郎 議員

ふるさと納税を増やすための取り組みについて

全国の各自治体では総務省の基準に従いながら工夫を凝らし、納税を増やす取り組みを実施しているが、下呂市の令和元年度の実績と今後の取り組みは。

◆ 市長

令和元年度の寄付金額は、2月26日現在で1億8041万円。前年度実績の1億1759万円の約1.5倍に達しています。平成26年度実績の767万円と比較しますと、約23.5倍と順調に伸びています。寄附金額増加の要因はいくつか考えられますが、最も大きな要因は委託事業者による返礼品アイテムの充実が挙げられます。

返礼品数については、令和元年度は46社285品目まで増加し、平成28年度の89品目と比べて、約3.2倍に増えています。返礼品で最も人気があるのが、米や飛騨牛、鶏ちゃんなどの肉類です。

公の施設見直しの進捗について

①令和2年度における公の施設の見直し計画は。

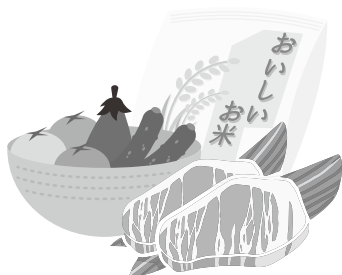
◆ 市長

令和2年度中の譲渡を目指し地域と協議を進めている集会所が1件です。また、令和3年度からの譲渡・民営化を目指し、関係団体等と協議調整を進めている施設は、温泉関連施設の飛騨川温泉みずの湯とゆったり館です。

②大幅に見直しが遅れているようだが、いつまでに見直しを完了するのか。

◆ 市長

平成30年度末の見直し完了を目指し進めていましたが、令和2年度以降にずれ込む施設は、統合20施設、譲渡・民営化42施設、廃止14施設あります。今後も公の施設の見直し方針に従い、市民の皆さま、地域の皆さま、関係機関の方々と協議・調整を図りながら、方針の変更も考慮し、できるだけ早い時期に完了したいと考えています。



3月臨時会の報告

令和2年3月30日、令和2年第2回下呂市議会臨時会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた緊急経済対策として、市内飲食業者で使用できる「下呂市プレミアム食事券」の必要経費など2億839万円の令和2年度補正予算が提出され可決しました。

○賛否が分かれた議案【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対

| 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | 審議結果 | | |
|--|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------------|
| | 尾里集務 | 中島ゆき子 | 田中副武 | 今井政良 | 各務吉則 | 宮川茂治 | 中島博隆 | 伊藤厳悟 | 一木良一 | 吾郷孝枝 | 中島新吾 | | 中島達也 | 中野憲太郎 |
| 令和2年度下呂市一般会計補正予算(第2号) 新型コロナウイルス関連の緊急経済対策としてプレミアム食事券を発行するため必要経費を補正するもの 他 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 可決 (賛成多数) |

『**濃飛横断道・リニア特別委員会**』
『**県に整備促進を要望**』
〔1月31日〕
◆場所 岐阜県庁
◆内容 濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議(中津川市・郡上市・東白川村・下呂市)で各地元選出の県議と共に、副知事、県土整備部、県議会に対し濃飛横断自動車道整備促進の要望を行いました。



副知事に要望書を渡す合同会議

6月定例会会期日程

6月定例会の会期日程をお知らせします。なお一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

| 月日 | 曜日 | 会議内容 | 時間 |
|-------|----|-----------|----------|
| 6月 5日 | 金 | 本会議(初日) | 午前10時～ |
| 17日 | 水 | 本会議(一般質問) | |
| 18日 | 木 | 本会議(一般質問) | |
| 19日 | 金 | 常任委員会 | 午前9時30分～ |
| 22日 | 月 | 常任委員会 | |
| 23日 | 火 | 予算特別委員会 | |
| 25日 | 木 | 本会議(最終日) | 午前10時～ |

※日程は変更になる場合もあります。

場所：本会議（下呂庁舎3階議場）
委員会（下呂庁舎3階第1会議室）

身近で開かれた議会をめざして
議会は市民の皆さまに信頼され、身近で開かれた存在となっていくことが必要です。そのため、令和元年度もさまざまな取り組みを行ってきました。その取り組みのひとつとして、地域に向き、議会活動や市政に対する意見などを伺う「市民と議会との意見交換会」を開催しました。意見交換会では、下呂市を元気にするための意見やご提言をいただきました。寄せられた意見等については、調査研究課題として常任委員会へ引き継いだり、市執行部に必要な対応を要請したりしました。今後も「市民と議会との意見交換会」を開催す

ること、市民の皆さまの貴重な声を反映した政策提言へとつなげるよう努めていきます。また、身近で開かれた議会を目指し、議会が一つになって取り組んでいくことを市民の皆さまとしっかり約束するため、議会のあるべき姿などを記した条例(議会基本条例)の制定や、議会活動の可視化に向け、検討を重ねてきました。できることから一歩ずつ議会の仕組みや考えを変えながら、市民の皆さまとともにより良いまちづくりを進めるための議会を目指していきます。